

みらいをともに



ニュース

発行/県民クラブ みたらいとみひろ

連絡所/大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288 携帯090-4350-2376 メールアドレスto4350mo@gmail.com



新年明けましておめでとうございます 新しい年がみなさんにとって素晴らしいものになりますように

初めての選挙戦に挑み、県議会議員として活動をスタートした2023年は、まさに「激動の1年」となりました。地元を中心に、行事等に参加させていただくなかで、貴重なご意見（高齢者の暮らしや地域の課題等〔①②〕）、地域の活性化につながるイベントについて等〔③④〕）を直接伺っております。

本年も「みらいをともに」をモットーに、お一人おひとりの願いが施策に反映され「住んでよかった、これからも住み続けたい」大分県となるよう力を尽くして参ります。引き続きのご支援、よろしくお願い申し上げます。



第4回 定例会報告 (23年11月27日(火)～12月13日(水))

上記の日程で、大分県議会2023年第4回定例会が開催されました。11月27日(火)の開会日には、佐藤知事より第91号議案から第107号議案が提案されました。

【提案理由説明要旨】

1. 県政諸般の報告 新たな長期総合計画の進捗状況について

①地球温暖化への対応について

- ・地球温暖化対策実行計画を改定し、初めて産業部門に具体的目標を設定
- ・カーボンニュートラルをめざし、県民・事業者・行政が一体となって対策を推進
- ・可能な限り必要な予算を確保し、災害に強い県土づくりを進める

②産業振興について

- 農 業) 県内青果物の出荷拠点であるJA全農の大分青果センターがリニューアル(24年4月)
- 畜 産) 生産基盤への支援や畜産研究部の施設改修による技術強化を通じ、意欲ある生産者を応援
- 林 業) 販路開拓アドバイザーの配置や出荷支援などにより伐採・加工・販売体制の確立を後押し

水産業) 「全国豊かな海づくり大会」が43年ぶりに開催(24年11月)

観 光) 福岡・大分ディスティネーションキャンペーン(今春～)

③広域交通ネットワークの充実について

- ・中九州横断道路のミッシングリンク解消を急ぐ
- ・有識者による広域交通ネットワーク研究会を立ち上げ、議論をスタート

④県政重点方針と予算編成について

- 「安心」分野 こども・子育て家庭への支援の充実
- 「元気」分野 人材不足への対応
- 「未来創造」分野 こどもの力と意欲を伸ばす教育の推進

2. 提出議案の説明

- 第91号議案 職員の給与に関する条例等の一部改正
- 第96号議案 ホーバーターミナルおおいたの設置及び管理に関する条例の制定

県内所管 事務調査報告



大分県議会では、6つの常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会を設置しています。常任委員会では、本会議から付託された議案や請願の審査を行うとともに、担当する各部局に関する事項を調査します。

「みたらい ともひろ」は、文教警察委員会の所属です。これまでの県内所管事務調査について、日付・視察先・主な質疑内容を報告します。

23年6月5日（月）

- ①由布市立湯布院中学校（由布市湯布院町川北）
 - ・職員の働き方改革の取組、不登校児童等の進路支援、学校運営にかかる地域の協力 など
- ②警察学校（大分市福宗）
 - ・女性警察官の割合、実践実習、警察官の職務倫理 など
- ③鑑識課及び科学捜査研究所（大分市高江西）
 - ・人員配置と業務量、鑑識技術者の異動、犯罪捜査のデータ保存 など



【指紋検出を体験（科捜研）】

23年6月7日（水）

- ①大分県立日出支援学校（日出町大神）
 - ・入学者の選抜方法、医療的ケア児の入学状況、知的障がい者に対する作業療法士の支援 など



【授業の様子も見学（日出支援）】

- ②国東警察署（国東市国東町安国寺）
 - ・振込詐欺の手口、大分空港の警備、警察署移転後の勤務環境の改善 など
- ③大分県立別府鶴見丘高等学校（別府市鶴見横打）
 - ・タブレットの活用によるメリット、卒業後の進路、情報系教科の授業内容 など

23年6月12日（月）

- ①大分県立津久見高等学校（津久見市津久見）
 - ・県内就職にかかる指導、学校の魅力発信、地域みらいビジネス科 など
- ②佐伯市立佐伯南中学校（佐伯市長谷）
 - ・教員の防災士資格取得率、防災教育にかかる資機材、視察等の各種費用、防災教育の継承 など
- ③佐伯教育事務所（佐伯市長島町）
 - ・不登校生徒にかかる登校支援員の活用、部活動の地域移行への取組、こころのコンシェルジュの役割 など



【活発な意見交換（佐伯教育）】

- ④大分県立佐伯鶴城高等学校（佐伯市城下東町）
 - ・優秀人材の確保、地元企業の就職説明会への参加状況、SSHの指定と進学先との関連 など
- ⑤大分県立佐伯豊南高等学校（佐伯市鶴望）
 - ・就職指導、専門授業、専門コースの情報発信 など
- ⑥佐伯警察署（佐伯市鶴望）
 - ・発災時の対応、要人警護にかかる課題、若年者の大麻等薬物検挙の状況 など

23年6月13日（火）

- ①竹田市立豊岡小学校（竹田市飛田川）
 - ・読書活動の他校への展開、タブレットを活用した不登校児童への対応、学校図書館司書 など
- ②竹田教育事務所（竹田市竹田）
 - ・学校の統廃合によるメリット及びデメリット、スクールバスの運用、体力、運動能力向上にかかるICTの活用 など

③竹田警察署（竹田市拜田原）

- ・山岳遭難、YAMAP（ヤマップ）を活用した登山届の提出、猟銃所有者の把握 など

④豊後大野市小中一貫教育校 朝地小中学校 （豊後大野市朝地町朝地）

- ・部活動の地域移行、地域移行にかかる朝地フレンドクラブとの関係、中体連の参加にかかる条件整備 など



【地元教育長を交えての協議（朝地小中）】

23年6月22日（木）

①玖珠町立塚脇小学校（玖珠町塚脇）

- ・教員の塚脇サイトの活用状況、児童のリテラシー教育、玖珠町内の学校におけるICTの活用状況 など

②大分県立日田支援学校（日田市西有田）

- ・スクールバスの更新、水害等発災時における児童生徒の避難、教員数の充足率 など



【スクールバスの状況について伺う（日田支援）】

③日田教育事務所（日田市城町）

- ・不登校児童生徒数の学年別内訳、部活動の地域移行における児童生徒の活動場所の確保、フリースクールへの入学状況 など

④日田警察署（日田市田島）

- ・若年層の薬物検挙、深夜徘徊、飲酒運転の検挙率 など

23年6月23日（金）

①中津教育事務所（中津市中央町）

- ・学力向上にかかる市教育委員会との連携、管内教職員の人員配置、変形労働時間制 など

②中津警察署（中津市中央町）

- ・男性職員の休暇取得、豊前警察署との連携、要人警護にかかる資機材の整備状況 など

③大分県立宇佐産業科学高等学校（宇佐市四日市）

- ・志願者の定員不足時における志願者全員合格の考え方、農業分野への就職、教育指導にかかる宇佐市との連携 など



【農業施設も視察（宇佐産業科学）】

④大分県立図書館（大分市王子西町）

- ・県立図書館と県内各市町村との図書館事業の連携、電子書籍、大分デジタル資料室の利用状況 など

23年10月24日（火）

①大分県立大分支援学校（大分市志村）

- ・スクールサポートスタッフの活用、スクールバスの利用台数、医療的ケア児の在籍数及び登校状況 など

②大分県立新生支援学校（大分市玉沢）

- ・教室の不足解消に係る取組、予算の確保、ICT機器及びネットワーク環境の整備状況 など

③大分県立中央支援学校（大分市東大道）

※24年4月開校に向け改修工事中

- ・校舎改修の進捗状況、職員駐車場について、児童生徒の定員数を超過した際の教室等の確保など

県外調査では、大阪・兵庫・広島で夜間中学やフリースクール、兵庫県警等を視察しました。

また、経済活性化対策特別委員となりました。約2年間、食と観光、農林水産業のさらなる振興と人材の確保・育成について議論します。



※1面からの続き

国の補正予算成立を受け、大分県でも総額358億3,530万2千円の一般会計12月補正予算案(第108号議案)が12月4日(月)の本会議において佐藤知事より提案されました。

【物価高への対応】

- ・エネルギー価格の高騰により影響を受ける、LPガスの一般消費者等や特別高圧契約で受電する中小企業に対する支援の継続(LPガス等価格激変緩和対策事業：9億6,300万円)
- ・燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域公共交通事業者を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費について期間を延長して助成(地域公共交通燃料高騰緊急支援事業：9,512万9千円)
- ・地域への再生可能エネルギーの導入を推進するため、太陽光発電等を導入する一般家庭や民間事業者に対し助成(地域再生可能エネルギー導入推進事業：1億3,250万円)
- ・飼料価格の高騰等を背景とした子牛価格下落の影響を受ける畜産農家の経営継続を図るため、繁殖農家の生産性向上の取組等を支援(和牛子牛生産性向上緊急対策事業：1億679万円)
- ・コロナ禍や物価高騰の影響下で債務が増大した中小・小規模事業者を支援するため、借換えなどの資金需要に対応する制度資金の増額等(中小企業金融対策費：10億601万円1千円)

【人手不足解消に向けた持続的な賃上げの実現】

- ・介護職員や看護補助者等の処遇改善を図るため、賃金の引上げに要する経費に対し助成(介護職員等処遇改善事業7億9,781万2千円)
- ・人手不足対策に向けた省力化や生産性向上を図る

続いて、決算特別委員会の報告もあり、質疑、討論の後、採決されました(第67号議案～69号議案および第79号議案～90号議案)。

それから6日(水)まで、一般質問が行われました。県政に対して様々な角度から質問がなされ、執行部が答弁します。3日間の議論を通じ、県政の課題の多さと、その解決に真摯に取り組もうとする、議員・執行部両者の姿を改めて認識しました。私自身、議会への出席を重ねるたびに、全力で県政に取り組む決意がさらに強くなると感じています。なお、今回「みたらい ともひろ」は質問の機会はありませんでした(会派ごとに回数の割当があるため)。議案調査を十分にを行い、常任委員会や会派への議案説明の場で、質問や意見を積極的に発言し、県政推進につながるよう努めました。

7日(木)には文教警察委員会が開かれ、委員会に関わる議案の審議を行いました。また、教育委員会、警察本部それぞれからの報告も受けました。課題の1つが、資材高騰や人員不足の影響で校舎の補修等の工事が計画通りに進んでいないことです。子どもたちのためにも、しっかりと取り組んでいく必要があると考えています。

13日(水)に閉会日を迎え、提案された議案が採決されました。補正予算を加えた予算総額は7,796億7,201万1千円となりました。皆様の暮らしの向上につながる執行となるよう引き続き注視していきます。



ため、ロボットやデジタルツール等の導入を行う中小企業等に対し助成(中小企業等省力化・生産性向上支援事業：4億4,000万円)

【県土の強靱化と農林水産業の成長産業化】

- ・災害に強い強靱な県土づくりを加速させる(国土強靱化5か年加速化対策関連公共事業：土木建設部：243億3,523万円、農林水産部：42億5,837万3千円) ※集中的に取り組む内容…緊急輸送道路の整備、河道の掘削、砂防ダムの建設、ため池の耐震化、農業水利施設の長寿命化、治山ダムの建設等
- ・変化に対応可能な農林水産基盤を確立するため、園芸産地の規模拡大に向けた水田畑地化等の基盤整備を実施するとともに、再造林や間伐等の森林整備を支援(農林水産業成長産業化関連公共事業：32億6,680万6千円)

【こどもの安全・安心の確保】

- ・保育施設や児童養護施設等における性被害の未然防止と早期発見等のため、施設設置者が行うパターションやカメラの整備に対し助成(児童等被害防止対策推進事業：2,475万円)
- ・教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備(県立学校施設整備事業：4億1,001万1千円)

